授業科目	＊グラマー・コンポジションⅠ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	塚本　美紀						
授業概要	英文法の理解は、英語の４つのスキル（聞く、話す、読む、書く）すべての基礎となる重要な要素である。この授業では、毎週テーマとなる文法項目のポイントを確認した後、文法問題演習と英作文を行うことにより、文法の定着と運用力の向上をはかる。						
授業形態	講義・演習			授業方法	Google フォームで質問に対応し、Google クラスルームに置いている資料によって自主学習の支援を行う。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 英文法の基礎（用法・機能・意味・特殊表現等）を理解することができる。 2. 学習した文法知識を基にして、理解可能な英文を書くことができる。
理想的レベル	1. 英文法の基礎（用法・機能・意味・特殊表現等）を理解し、それらを説明することができる。 2. 学習した文法知識を基にして、正しい英文を書くことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	30%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	05%	
レポート外の提出物	15%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	EN11103J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
予習として練習問題を解き、復習として次回の小テストの準備をする。	4

授業計画	
第１回	テーマ：　Unit 1-2 Present 現在形について解説と演習を行う。
第２回	テーマ：　Unit 3-6 Present and past 現在形、現在進行形、過去形、過去進行形について解説及び演習を行う。
第３回	テーマ：　Unit 7-12 Present perfect and past 1 現在完了形と現在完了進行形について解説及び演習を行う。
第４回	テーマ：　Unit 13-18 Present perfect and past 2 現在完了形と過去形、過去完了形、過去完了進行形について解説及び演習を行う。
第５回	テーマ：　Unit 19-25 Future

	未来形、未来進行形、未来完了形について解説と演習を行う。
第 6 回	テーマ：　Unit26-31 Modals 1 can, could, must, can't, may, might, have to について解説と演習を行う。
第 7 回	テーマ：　Unit 32-37 Modals 2 must, mustn't, needn't, should, would について解説と演習を行う。
第 8 回	テーマ：　Unit38-41 if and wish 仮定法について解説と演習を行う。
第 9 回	テーマ：　Unit42-46 Passive 受動態について解説と演習を行う。
第 10 回	テーマ：　Unit47-52 Reported speech, Questions and auxiliary verbs 話法、疑問文、助動詞、付加疑問文について解説と演習を行う。
第 11 回	テーマ：　Unit53-58 -ing and to... (1) 動名詞と不定詞について解説と演習を行う。
第 12 回	テーマ：　Unit59-63 -ing and to ... (2) 動名詞と不定詞を用いた構文について解説と演習を行う。
第 13 回	テーマ：　Unit64-68 -ing and to ... (3) 動名詞と不定詞の違いについて解説と演習を行う。
第 14 回	テーマ：　エッセー・ライティング これまで学んだことを元にテーマに沿ったエッセーを書く。
第 15 回	テーマ：　これまでの復習とまとめ 前期の内容についての質問について答えながら、前期の振り返りを行う。
テキスト	『English Grammar in Use』　Raymond Murphy 著　(2019 年) Cambridge University Press 『ロイヤル英文法』　綿貫陽　他著　（２０００年）　旺文社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて指示する。
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点後、返却する。Google フォームに記入された質問については、次の授業で説明する。
学生へのメッセージ・コメント	文法の基礎を固めることは、皆さんの今後の英語力向上のための大切な土台となります。皆さんの学力定着をサポートするために、毎回復習テストを実施します。しっかり予習・復習をして授業に臨んでください。